

フレキシブル省配線システム

S-LINK V

●レイアウト、自由自在

分岐数の制限をなくし、制御点数を多点化したことにより(最大512点、256ノードMAX)、配線による制約を受けることなく、レイアウト設計が容易に行えます。

●信頼に応える、基本性能

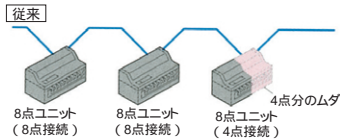
通信プロトコルにより通信速度も大きく向上。通信距離も最大800m(Cモード時)を実現しました。

●現場への、優れた対応力

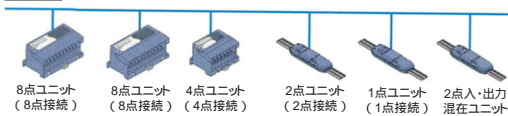
通信モードが、3段階で切り換えられるため、現場、装置が変わっても機種変更不要で対応できます。

●制御点数の多点化を実現

入出力の最大制御点数が512点。接続ノード数が256台となり、1・2・4・8・16・32点と入・出力ユニットのラインナップにより、接続したい入・出力機器の数に合わせて、制御機器を効率よく配置ができます。



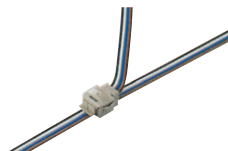
S-Link V



●技術者の設計負担や、現場の配線作業を軽減

省施工の圧接コネクタを使用し、どちらからでも何回でもT分岐させることが可能です。

幹線・支線の区別や分岐回数の制限もないため、渡り配線(バス配線)や多分岐配線(スター配線)を行うことができます。



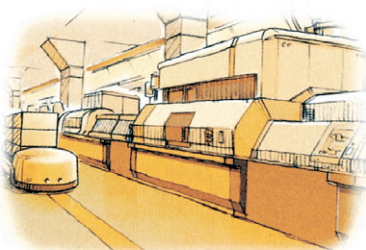
●上位ネットワークを選ばない、ビットレベルネットワーク

PLC用、入出力コネクタにより国内外のほとんどのPLCへ接続可能です。またコンピュータ制御用のコントロールボードについても、PCIバス、ISAバス、VMEバス用を用意。接続する上位バスを選びません。世界中に普及が進んでいるオープンネットワーク(CC-Link、Device Net)にも接続できます。

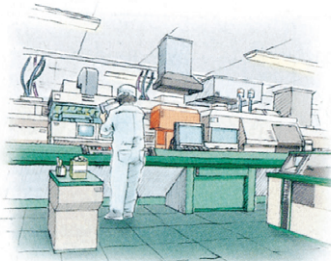


用途例

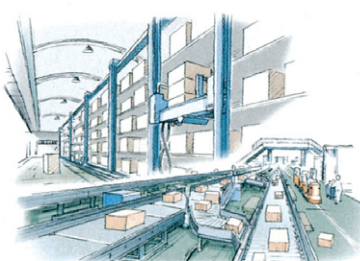
半導体製造装置



自動組立装置



物流・搬送機械



●通信モードの切り換えが3段階で可能

コントローラ側だけの操作でシステム全体の通信モードを選択できます。A、B、Cの3モードに可変できることにより通信速度やシステム規模によるコントロールや入出力ユニットの検討、変更をする必要がありません。

通信モード	Aモード	Bモード	Cモード
主な項目			
リフレッシュタイム	1.5ms以下(32点時) 3.3ms以下(128点時) 10.3ms以下(512点時)	6.0ms以下(32点時) 13.1ms以下(128点時) 41.3ms以下(512点時)	24.0ms以下(32点時) 52.3ms以下(128点時) 165.2ms以下(512点時)
最長通信距離	50m	200m	800m
総配線長	100m	400m	1,600m
入・出力制御点数	32～512点(32点単位で設定)		
ノード数	最大256ノード		

●市販のケーブルやコネクタも使用可能

S-LINKVでは専用4芯フラットケーブルと専用圧接コネクタを用意しています。また市販の4芯VCTFケーブル(シールドなし)やコネクタにも対応しています。

●全機種CEマーキング(EMC指令)に適合

EMI規格EN50081-2
EMS規格EN50082-2、EN61000-6-2

●メンテナンス性向上

システムが常に通信を監視しています。万一の場合には、トラブル内容を知らせるエラーが発せられるため、瞬時にトラブルに対処できます。

●電源供給方法が選択可能

入出力ターミナル(SL-VTB、SL-VTBP)ではショート金具の着脱により、システム(S-LINKV)用電源/負荷(入出力機器)用電源を一括供給させるか、分離供給させるかが自由に選択可能です。

●S-LINKVは、各社PLCへの接続に加え、パソコンの拡張スロット、オープンネットワークなどへも接続が可能。